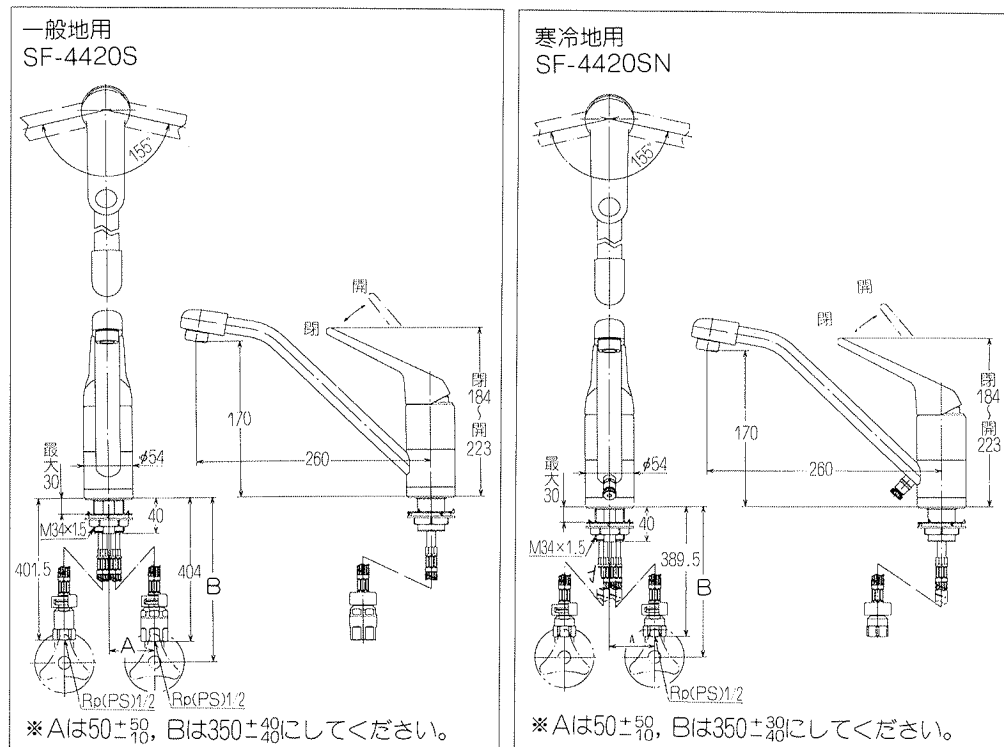
# ルーティアシリーズ

一般地用 SF-4420S 寒冷地用 SF-4420SN
シングルレバー混合水栓

商品の機能が100％発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

## ●商品図

※カウンター穴あけ寸法はφ36±2で行ってください。カウンター厚は最大30mm。

## ●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

| ⚠ 注 意 |
| --- |
| 湯水を逆に配管しないでください。<br>※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。 |
| お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。<br>寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。<br>※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。 |

## ●使用条件

●給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合〕
給水圧力 { 最低必要圧力 ……A+0.04MPa{0.4kgf/㎠}
最高圧力 …………0.74MPa{7.5kgf/㎠}
Aはガス給湯器の最低作動圧力です。
●測定条件
※レバーハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5°C、吐出温度42°C）によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。
〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕
給水・給湯圧力 { 最低必要圧力 ……0.05MPa{0.5kgf/㎠}
最高圧力 …………0.74MPa{7.5kgf/㎠}
●温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。
●給水圧力が0.74MPa{7.5kgf/㎠}を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力（0.20〜0.39MPa{2〜4kgf/㎠}程度）に減圧してください。
●給湯に蒸気は使用できません。

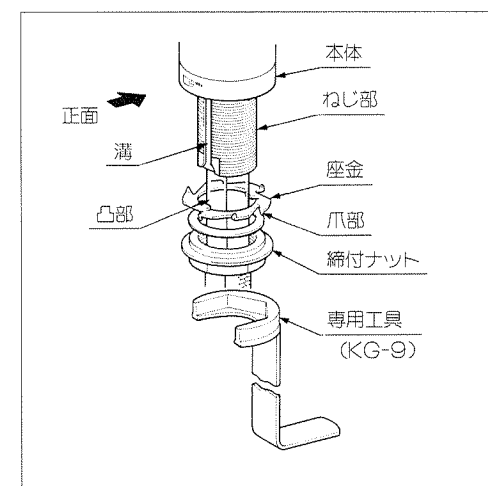
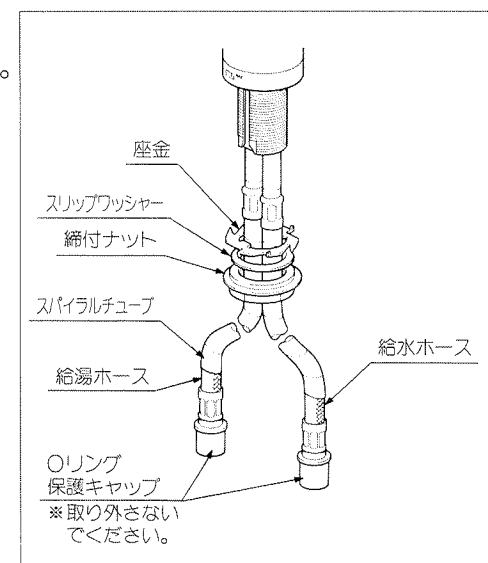
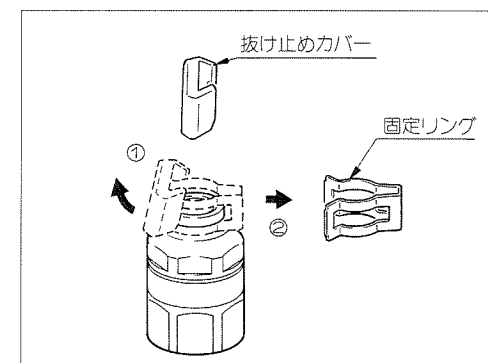
## ●施工前のご注意

●給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●取付けに必要な専用工具（KG-9）を用意してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
●取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。
●カウンター裏面の補強板は珪酸カルシウム板以外の材料としてください。
※本体固定不良の原因になります。裏面の補強板は、木質系のボードとしてください。

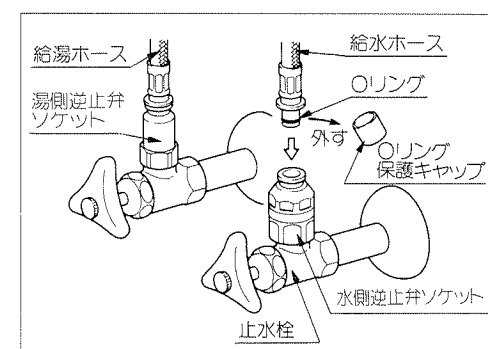
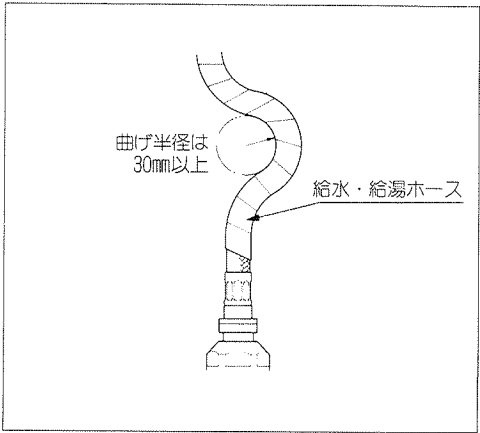
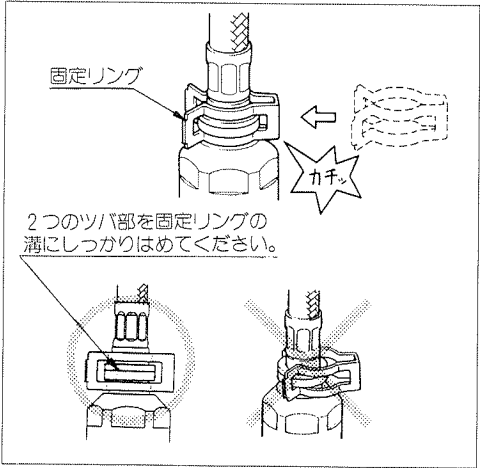
## ●取付方法

以下の手順で正しく取り付けてください。

1. 水栓本体に付いている締付ナット・スリップワッシャー・座金を取り外し、本体をカウンター穴に挿入します。
※Oリング保護キャップは逆止弁ソケット（又はソケット）と接続するまで取り外さないでください。
※スパイラルチューブは給水・給湯ホースを保護するために付けられます。取付後も外さないでください。

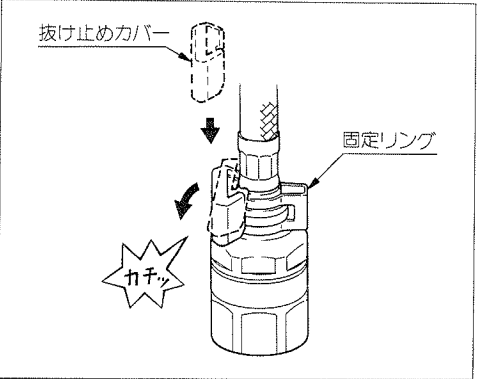
2. 水栓を締付ナットで固定します。
※水栓本体のINAXマークが正面を向くように吐水口の金属部分を持って締め付けてください。
※座金の凸部を本体ねじ部の溝に合わせて挿入し、爪部がカウンター裏面にしっかりくい込むまで締め付けてください。
※別売の専用工具(KG−9) を使用してください。
※座金の爪部でケガをしないよう注意してください。

3. 抜け止めカバー、固定リングの順に取り外します。

4. 逆止弁ソケットを止水栓に固定します。
※逆止弁ソケットは湯水所定のソケットを取り付けてください。逆に取り付けると故障の原因になります。
※SF-4420SNには逆止弁ソケットは付いていません。
湯水共通のソケットとなります。

株式会社INAX

| | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 本社 ☎0569-35-2700 | 札幌支社 ☎011-271-1701 | 東北支社 ☎022-263-1710 | 東京支社 ☎03-5541-7111 | 西東京支社 ☎0425-27-3341 |
| 横浜支社 ☎045-242-1710 | 千葉支社 ☎043-227-8171 | 埼玉支社 ☎046-668-1177 | 東関東支社 ☎0286-37-3378 | 関越支社 ☎0273-27-1793 |
| 甲信支社 ☎0263-36-2166 | 名古屋支社 ☎052-201-1717 | 静岡支社 ☎054-251-1710 | 北陸支社 ☎0762-64-1710 | 大阪支社 ☎06-539-3500 |
| 京滋支社 ☎075-222-1794 | 広島支社 ☎082-223-1710 | 四国支社 ☎0878-21-1701 | 福岡支社 ☎092-471-1710 | 南九州支社 ☎096-322-1794 |

5. 給水・給湯ホースのOリング保護キャップを取り外し、逆止弁ソケットに差し込みます。
※Oリングに傷をつけたり、ゴミかみをさせないように注意してください。
漏水の原因になります。
※給水・給湯ホースを曲げる場合は、曲げ半径を30㎜以上確保してください。無理に曲げるとホースが損傷し、漏水の原因となります。

6. 固定リングを給水・給湯ホースと逆止弁ソケットの接続部（ツバ部）にはめ込みます。
※誤って取り付けると漏水の原因となりますので、確実にはめ込んでください。
※給水・給湯ホースを上に引き、確実に接続されていることを確認してください。

7. 抜け止めカバーを固定リングにはめ込みます。
※固定リングが外れると漏水の原因となりますので、必ずしっかりとはめ込んでください。
※直接固定リングに手を触れるとケガする恐れがあります。
抜け止めカバーを必ずはめたままにしてください。

# ●施工後の調節

●流量調節

水栓の機能を十分発揮させるため、水圧が0.20MPa｛2kgf/㎠｝を超える場合は湯と水の吐出量が同じになるように水側の止水栓（別売）を絞ってください。

# ●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の容領で行ってください。

●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

| 現　象 | 点 検 内 容 | 点検箇所 | 処　置 |
|---|---|---|---|
| 流量が少ない | 圧力は十分か? | | 「使用条件」の項参照。 |
| | 配管途中に大きな抵抗はないか? | | 抵抗となる障害物を取り除く。 |
| | 止水栓は十分開いているか? | | 止水栓を十分開く。 |
| | 整流網にゴミ詰まりはないか? | ① | ゴミ等を水で洗い流す。 |
| 水が止まらない | ゴミかみはないか? | ② | ゴミ等を水で洗い流す。 |
| | キズはないか? | ② | キズがあれば部品を交換する。 |
| | ゆるみはないか? | ③ | カートリッジ押さえを締める。締め過ぎるとレバーハンドルが重くなることがありますので注意してください。 |
| 希望の温度が得られない | 圧力は十分か? | | 「使用条件」の項参照。 |
| | 流量調節はよいか? | | 「流量調節」の項参照。 |
| | 整流網にゴミ詰まりはないか? | ① | ゴミ等を水で流い流す。 |
| レバーハンドルがガタつく | ゆるみはないか? | ④ | ねじをしっかりと締める。 |